Javaの成績未認定について

学校長　小見　英晴

担当教諭　土沼先生

提出日

納期　令和元年10月1日

学科　CG・ゲームクリエイター科　2年

氏名　武田芽衣

未認定教科名：Java

担当教員名：土沼先生

私は、令和元年度前期Javaの評価がC5となりました。私はJavaの2級の検定試験の日、外出していたので受験できませんでした。まず、私は、Javaの授業中に、チームのゲーム制作やほかの授業の課題、自分で個人制作している作品の作業に集中していて、先生が話をしている時も先生の話に耳を傾けようとしませんでした。話を聞き逃すことが多かったので、作業内容がわからないまま、授業中作業していることが多かったです。また、自分の作業にばかり集中していて、Javaの検定試験の過去問題を解いたり、教科書を読んで演習問題を解くことに割いている時間が少なかったです。また、私は家で夜更かしをすることが多く、午前の授業で疲れてしまい、午後の授業から集中がきれて、居眠りをしても怒られないと思い、居眠りをしている時間が多かったです。検定試験の過去問題を課題で、出された際もわからない問題を選択肢の根拠を考えることをせず、選択して解答することが多かったです。家では授業で出た課題を安易に考え、納期までに課題が終わらず提出し忘れることも多々ありました。また、採点後どうして間違えたのかと理由をしっかり考えることをしませんでした。そして、わからなかった問題や、間違えた問題を、見直しや答えを見て理解するまで勉強をすることをせずに、採点するだけで済ませることが多かったです。わからないところは、わかっている人に聞いたり、解説をよく読んだり、ネットで調べたりすることで理解を深め、それでもわからなかったところは、先生に質問してわからないことを解決していくべきでした。先生の授業中の指示をしっかり聞き、集中して授業に取り組むべきでした。授業に対する集中力や努力、家での自主学習が少なかったと思います。この結果、Javaの検定試験の不合格、単位の未認定を招きました。このことから、努力を怠らないことは、重要だと感じました。自分が進んでやりたいと思わないことでも、真剣に物事を捉えて、自分の将来のための勉強だと思い、取り組むことが大切だと学びました。今までの夜更かしをする生活習慣を改め、早寝早起きする習慣を癖付け、授業中に居眠りをすることがないように、今後気を付けていきます。課題や検定試験の過去問題に対しても、しっかり根拠を考えて取り組み、採点後も選択した理由などをしっかり振り返り、解答が選択される理由までを考えるようにします。私は安易な考えで行動してしまうことが多いので、安易な考えではなくしっかり考えた上で行動すべきだと感じました。また、課題なども納期が近くなってからはじめるのではなく、課題が出たときに早めに終わらせ、納期に余裕をもって取り組むことを心掛け、授業の時間は授業の内容に集中できるようにしていきます。これからは今回の失敗から得たことを参考にして、主に三つのことを意識して頑張りたいです。まず一つ目に、生活習慣の改善です。私は授業に集中しきれてないことが多いので、早寝早起きをして朝ごはんをしっかり食べ、一つ一つの授業に対して、集中力を切らさないように気を付けていきたいと思います。SNSやゲームに割く時間を減らし、その分早めに自主学習を行って、寝る時間を早めたいと思います。二つ目は事前学習を行うことです。教科書をよむことを余していなかったので、基礎問題でつまずくことが多かったです。三つめは、人の話をしっかり聞くことです。私は授業中にほかの作業に集中することが多く、話を聞くことに対してすべてを集中させていませんでした。